

## 事務事業評価表

### ○基礎情報

課名		拠点整備課	作成責任者
施策目標	58	地域特性に配慮した都市拠点を整備する	大川 哲裕

常勤職員		常勤職員以外			総従事者
管理職	左記以外	再任用短時間	会計年度任用職員	派遣職員	総人工
1 人	8 人	0 人	0 人	0 人	9.00 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
758 時間	7.9 時間

## 1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H30年度	R元年度	R2年度
辻堂駅西口周辺整備事業の整備進捗率	86.6%	86.8%	86.7%	86.7%	86.7%
香川駅周辺整備事業の整備進捗率	18.4%	27.3%	26.3%	27.2%	30.5%
浜見平地区拠点整備事業の整備進捗率	35.8%	60.6%	46.5%	49.1%	53.0%
萩園地区産業系市街地整備事業の整備進捗率	38.7%	100%	90.2%	93.8%	100%

(施策のねらい)

1	住宅、商業、工業などが調和した土地利用の誘導（辻堂駅西口周辺）
2	交通基盤の整備・都市機能の導入（香川駅周辺）
3	公共施設・商業施設の段階的整備（浜見平地区周辺）
4	基盤整備の推進（萩園地区）
5	都市整備の推進
6	0
7	0
8	0

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった

### C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める

## 2 未着手事業(計画していたが未実施に終わった)

**A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった** **B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める**

**D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない**

**実績なし** 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

## 2 政策的事業の実績(令和2年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)												Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	R元予算(円) R元決算(円)	R2予算(円) R2決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 (対象) (手段・方法)	どうなったか(生まれた成果・効果)	事務事業の指標	R2目標値	R2実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	辻堂駅西口周辺整備事業	1	1.18	一般	435,000 ----- 305,791	70,000 ----- 63,580	コロナ禍であっても新しい生活様式に対応した地域コミュニティ活動が持続できるよう、辻堂西口YU-ZUルームへ支援を行い、地域との交流が図れた。	辻堂駅西口周辺整備事業の進捗率	86.8%		86.7%	S	減少		
2	香川駅周辺整備事業	2	1.65	一般	18,252,494 ----- 11,366,233	141,041,000 ----- 126,767,037	将来の相模線の利便性向上を見据え、段階的に駅周辺の交通基盤などの面的整備を進めており、歩行者の安全性を高める歩道整備のための事業用地を買収した。	香川駅周辺整備事業の進捗率	27.3%		30.5%	S	変動なし		
3	浜見平地区拠点整備事業	3	3.24	一般	164,171,920 ----- 129,701,147	85,996,000 ----- 81,763,104	独立行政法人都市再生機構(UR)による浜見平団地の建て替えに合わせ、生活利便性や防災性の向上を目指しており、松尾川雨水幹線の暗渠化を進めた。	事業の進捗状況	60.6%		53.0%	S	変動なし		

4	萩園地区産業系市街地整備事業	4	1.97	一般	151,263,506	46,127,500	産業系への土地利用転換及び良好な生活環境の形成を図るため、組合施行による事業への支援を行い、都市基盤施設の整備を進め、組合による基盤整備工事が完了した。	基盤整備率	100%	100%	S	変動なし		
					127,064,349	40,670,892								
合計					R2予算(円)	273,234,500								
					R2決算(円)	249,264,613								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)														
<p>拠点整備課の令和2年度における政策的事業数は4事業である。これら事業の評価結果は、「S」4事業となっており、全ての事業で成果を出すことができた。</p> <p>辻堂駅西口周辺整備事業については、土地区画整理事業そのものは終了しており、辻堂西口YU-ZUルームへの人的支援のみ行っているため、事業費を指標とした実績値は横ばいとなっている。</p> <p>香川駅周辺整備事業及び浜見平地区拠点整備事業については、国の交付金を活用して整備を進めており、交付金の配分状況によって整備の進捗が左右される。その結果、香川駅周辺整備事業については目標値を超える整備を実施することができ、浜見平地区拠点整備事業については目標値の約87%の進捗となった。</p> <p>萩園地区産業系市街地整備事業は、基盤整備を完了し、目標値を達成することができたため、今後は事業終了に向けて関係機関との調整を残すのみとなっている。</p> <p>全ての事業において施策目標の達成に向けて重点的に取り組んだ結果、上記のような成果を上げることができた。</p> <p>職員の時間外勤務に着目すると、総時間で758時間、1人当たりに換算すると月平均7.9時間であり、前年度と比較して総時間数399時間減少、1人当たりの月平均は、4.2時間減少した。その理由としては、萩園地区産業系市街地整備事業が基盤整備の完了を迎えたことにより業務量が減ったこと、辻堂西口YU-ZUルームが新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため活動を縮小したこと等が考えられる。</p> <p>拠点整備課の各事業は、ルーチン業務がほとんど無く、地権者対応等の対外的な要因により事業進捗が左右されてしまうこともあるが、その中でも事務の効率化や実施手法の改善を図り、時間外勤務を縮減することができた。</p> <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響ならびに財政健全化の観点から事業内容を再検証し、事務事業における成果の更なる向上に取り組みたい。</p>														

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は-)	事務改善の内容
	-	-

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
	-	各拠点共に計画があり、地域住民も交えてまちづくりを推進している。市としてもハード・ソフト両面にこれまで投資してきており、整備が完了すれば税収や地域の活性化等が見込めるため、現時点で廃止を検討することは難しい。なお、萩園地区産業系市街地整備事業については面的整備は完了したが、換地処分等の業務を行うため、令和3年度末までは事業を継続する。